

科目名	社会福祉演習Ⅳ N					単位	2.0
担当教員	目黒 達哉						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	4	授業番号	3253

●授業のテーマ

社会福祉従事者、心理職としての実践力と精神力を高める

●到達目標

実践活動を通じて、対人援助者としての実践力を身につけることができる。また、耐性を高めることができる。さらには個人研究のテーマを卒業論文としてまとめ、完成することができる。

●学習内容(授業概要)

●授業目的・到達目標

実践活動を通じて実践力を身に付け、耐性を高める。

●学習内容・キーワード

社会福祉演習Ⅲでは、カウンセリングを体験的に学び、また対人援助者として自己理解、他者理解を深める体験学習を実施した。

これらの学びを踏まえ、社会福祉演習Ⅳでは、子どもや保護者にかかわる対人援助ボランティア実践を、実際に計画し、実践したいと考えている。

また、社会福祉演習Ⅰ・Ⅱ（3年生ゼミ生）の環境美化ボランティア活動のサポートも行う。

さらには、実践と並行して卒論、ゼミ論完成に向けての指導も予定している。

（キーワード：カウンセリング、ボランティア、対人援助者、自己理解、他者理解）

●学習内容(授業計画)

1. 実践計画①動機
2. " ②目的
3. " ③目標
4. " ④具体案作成
5. " ⑤検討
6. 実践①買い出し
7. ②実践準備
8. ③実践
9. ④後片付け
10. 実践の振り返り①フォローアップ
11. " ②次回に向けて
12. 卒論、ゼミ論指導①全体
13. " ②個別
14. 卒論、ゼミ論発表会①前半
15. " ②後半

●準備学習・事後学習の内容

毎回の演習のテーマごとに、予め、個人研究のテーマに関連したことなどを調べて演習に臨むこと。また、演習後は、演習の要点をまとめ個人研究に生かすなどの工夫をすること。

●成績評価方法・基準

演習時の発表（50%）、レポート（50%）によって総合的に評価する。

●テキスト（必携）

《No.1.》書籍名：こころのうた、著者名：目黒達哉 編、出版社：(株)みらい、販売先：研究室

●参考文献／その他

演習時に紹介する。

●履修上の注意

演習は学生の皆さんが動かしていくものであるから、積極的な参加を望む。